

< 言語資料 >

琉球短編歌劇「茶売や一」の文法注釈付きテキスト

西 岡 敏 NISHIOKA Satoshi

前々稿の「琉球歌劇『仲直り三良小』の文法注釈付きテキスト」、前稿の「琉球歌劇『親阿母』の文法注釈付きテキスト」に引き続き、本稿では、こちらも琉球歌劇の初期の小品である「茶売や一」の活字テキストを二つ紹介し、文法注釈を加えることとする。今回使用する活字テキストは、加藤三吾 1985[1916]『琉球の研究』「第七章 琉球の言語文章」（未来社復刻版第二刷^(注1)、pp.164-167）「二 平良辻の茶売」と普久原恒勇〔監修〕2007『昭和戦前・戦後 黄金期の名人が甦る 沖縄民謡大全集』（CD解説書所収、p.30）「歌劇 平良ぬ頂節（一名：茶売い節）」の二つである。本稿では、前者を『加藤本』、後者を『普久原本』と略称する。まず、互いに対照できるように、左右2段組みで二つのテキストを原文のまま提示する。そのあと、それぞれに、沖縄語の音韻を写し取った仮名表記、音韻記号、文法注釈、和訳を加えたテキストを『普久原本』（Ⅱ. 「書き起こし」テキスト）、『加藤本』（Ⅲ. 再編テキスト）の順番で提示する。なお、今回の仮名表記は、琉球文学大系第12巻『琉歌 中』（ゆまに書房、2023）で用いられているものとする。

◎文法注釈（グロス） 略号一覧（今回に限定）

略号	英語	日本語
1	first person	一人称
ABL	ablative	奪格
ADD	additive	累加
ALL	allative	方向格
ATTR	attributive	連体
CEX	counter expression	逆接
COM	comitative	共格

COMP	complimentizer	補文標識
COP	copula	コピュラ
CSL	causal	原因・理由
DAT	dative	与格
DIM	diminutive	指小
FOC	focus	焦点
GEN	genitive	属格
HON	honorific	尊敬
IMP	imperative	命令
IND	indicative	直說法 (終止)
INF	infinitive	連用
INTJ	interjection	感動詞
IRCN	irrealis conditional	未然条件
NEG	negative	否定
NMLZ	nominalizer	名詞化
NOM	nominative	主格
NPST	non-past	非過去
PASS	passive	受身
PL	plural	複数
POL	polite	丁寧
PRH	prohibitive	禁止
PROG	progressive	進行
PST	past	過去
Q	question marker	疑問マーカー
RCN	realis conditional	已然条件
RSL	resultative	結果
SEQ	sequential	継起
SFP	sentence final particle	終助詞
SFS	sentence final suffix	終助辞
SG	singular	単数
SLFQ	self-question	自問

TOP	topic	主題
VOL	volitional	志向

(注1) 加藤三吾著『琉球の研究』(初版は大正5年)には幾つかの版があるが、今回、テキスト提示に使用したのは、1985年に未来社が発行した版である(第一刷が1975年のものの第二刷。以下、未来社版とする)。また、1939年(昭和14年)に第二版が発行され、沖縄郷土文化研究会によって1971年(昭和46年)に第三版が発行されているテキスト(pp.178-182。以下、沖郷会版とする)と未来社版を比べてみたところ、地の文が未来社版では現代仮名遣いに直されており、また、テキストそのものには4箇所(字の間違い・誤植)がある。後者については、IIの注で指摘する。

I 「茶売やー」テキストの提示

『加藤本』(1985 [1916])

二 平良辻の茶売

テトントンテトントンという蛇皮線の拍子につれて、カミジャ^(注2)とサレン^(注3)と呼ぶ二人の田舎男が旅姿で一方より出る。同時に二人の妻女は他方より出る。四人差し向いて足拍下とり、男と女と交る交る進み出て踊る、歌に

女、すいなふアーにもーらわ、いたづらさけぬみちゝしみんそーれ、わたーすー

首里那覇ニ参ラバ、色ト酒トヲ謹
ミナサレ、我夫ヨ

めーるうエらぬしーわや、うりるやんど、みむちていしつかんぬんど

参ル間ノ心配ハ、ソレデスヨ、身
持ガ大切デスヨ。

『善久原本』(2007)

⑩ ^{かげき}歌劇 ^{てーら}平良 ^{ちぢぶし}ぬ頂 ^{ちゃーう}節 (一名: ^{ぶし}茶売い節)

田舎の男が町方へ出かけ、美人の「茶売り娘」に見惚れて、釣銭も取らずに帰る。娘は男を「阿呆な客だと、にんまり」。男は娘を「神か仏かと上機嫌」。戦後は曲名「茶売り節」となる。

妻 ^{しゅいなふあ}首里那覇 ^{もう}に参ら ^わは ^{じゅり}尾類 ^{さきぬ}ゆび酒飲
^ちみ ^は気張 ^わてい ^わしんそー ^わんな ^わ我
^{すう}たー ^{すう}主

^{けえー}帰 ^{いえーだ}る ^し間 ^わぬ ^わ心配 ^わや ^わうり ^わる ^わや ^わんど
^み身 ^む持 ^{でーいち}ち ^わ第一 ^わど ^わかん ^わぬ ^わう ^わど

男、しわんすなば一ちた、ちようやんぢ、
あちやゝるぬふいさけいてちようくと
心配スルナ妻共ヨ、今日ハ行テ、
明日ハ其足デ直グ帰テ来ルカラ

女、ちゃんこいみ一せら、てらんちじ
ぬぶてがじまるちしちャゆ一ゆし
茶ヲ買ナサルナラ、平良辻ヲ上テ
榕樹ノ下ニ

かぢたゆてゐ一ちヨる、んみちがヤ
からこ一てめんそれぬでんだ
影ヲ便リテ居ル、娘ノ茶ヲ買テオ
イデ、呑デミヤウ
(これにて女共は引込む)

男、んみぐワちャやか一わて、しいさ
あまさぬあさぬみ一くわや
娘茶屋ノ方ニ回テ番茶ヲ買フヤ

はなしするう一ちに、すいんはい
ちハヤさかみぢャふィ、でちャやとぐワ
んかい

話スル中ニ、首里ニ早ヤ来タヨ亀
兄ヨ、イデ宿屋ニ行コウ
(これにて男共は引込み、入代て平良辻
の美人茶売鶴女は、茶を盛つた大笹を
両手で頭上に捧げて出で来りながら)

鶴、わんどていらんちじ、ちゃんうゆ
るちるとやいび一しが、
私ハ平良辻ニ茶ヲ売リ居ル鶴デゴ
ザイマスガ

夫 ^{しわ}心配すなバーチーヨ ^{ちゆうやんじ}今日や行じ
^{あちや}明日やゝるぬ ^{ひさけ}足帰え一 ^ちてい来うく
とう

妻 ^{ちや一こ}茶ん買いみせ一ら ^{て一ら}平良ぬ辻登
^{ぎ一しちや}ていガジマル木下ヨ一ユシ

^{かじたゆ}陰頼てい ^あ居ちよる ^{うみぐわ一ちや一こ}姉小茶から買
^ちうてい ^{ちぬ}参うりよ ^ぬ飲でいんだ

夫 ^{うみぐわ一ちや一かわ}姉小茶や変てい ^{あま}シーサ甘さぬ
^{あさ}朝ぬ目クファヤー ^こうり買うゆさ

^{はなし}話する ^{うち}内に ^{しゆい}首里ん ^ちはち来よさい
^{さんだ一}いえ一 ^{やどぐわ一}三郎でい ^こちや宿小かい

茶売 ^{わみ}我身 ^{て一ら}どう平良 ^{ちぢ}辻ぬ ^{ちや一うや一}茶売ぬチ
ルーるやいび一しが

とちうすくなーとて、ふィくまち
かいんぢていちわどやるじゅにじな
とーさ

時刻遅イカラ、ドレ早ク町ニ出テ行
キマセウ、オヤ十二時ニナツテ居ルヨ
(とて、茶売の鶴は宜き所に座る、男
共は再び出て来て)

男、ちヨうやしますーがい、ちゃんこ
ていかなかみぢゃふいていらんぢよ

今日ハ帰ル序ニ、茶ヲ買ツテ行コ
フデナイカ亀兄ヨ平良ニ出テサ

しけんとゆまーれる、んみぐワし
がたやかみかふときか、エサさんれ、
サツテモ、

世間ニ評判ノ、娘姿ハ神力仏か^(註4)、
オイ三良
(ナルホドとて、茶売に見とれる。茶
売は兩人に向ひて)

鶴、ちゃんこいんせーら、うまさチャー
ぬあくと、やくみたこーらに

茶ヲ買フナラ、好イ茶ガアルカラ、
兄サン達買ヒマセンカ
(男共は茶売の前に行て)

男、ちユいにん——ち、はなぬこーか
らかけてうみしヨうれ、でいねいらんさ
一人ニ二斤宛、「花の香」ヲ目方カ
ケテ売ナサレ、代ハ幾ラデモヨイサ
(茶売は番茶二包を男共に渡す、男共は
大きな紙幣を出して)

とちうし
時遅くなとれ 急^{いす}じ^{まち}町かい^ん出^んじ
てい^い行きわるやる 十二時^{じゅうじ}なと
うさ

夫 ちゆう しま ちゃー
今日や島すがい茶買(こ)うてい
行かなイエー三良、平良行じやー

茶売 ちゃー こ
茶ん買うるみせーら まあさ茶
ぬあしる^{やくみーたー}役目達、買^こうらに

夫 ちゆい いっちん ほん こう
一人一斤ぢぬ花ぬ香から
か 掛きてい^う売みそうれ、アヤーメー
くわー 小

男、ちゃんでい、といみそーれ
茶ノ代、取りナサレ

ちやー でー とう
茶ぬ代ん取いみそうれ

鶴、けいしむどしや、なまやねーらんしが
オツリガ、今アリマセンガ

けえー むどう なま ね
茶売 返し戻しや今や 無えーらんし
が

男、しまびーさ
ヨロシイヨ

夫 しまびーさ

(茶売はソコ、ゝに笹を捧げて立上り、
引込みながらに)

鶴、ちょうやふりむんいーちョて、いー
あちね、しちヤさふイクやんかい、い
ちわどやる

ちゆう ふ むんいちや
茶売 今日や振り者行逢てい
ふ あちねえ しちえさ早く 家かい
い
行きわどうやる

今日ハ馬鹿者ニ出会テ、好イ商売
シタヨ、ドレ早ク家へ行キマセウ
(後に男共は、彼方に向ひて)

しきん とうたか うみくわしがた かみ
夫 世間音高さ姉小姿や 神るやさ
さんだー
三良サツティム

男、すいからや、なまどちょうしが、やー
やたんうらぬかや、ばーちーよ

首里カラ、今戻ツタガ、家ニ誰モ
居ランカ、妻ヨ
(と手を打てば、以前の妻二人出て来て)

女、いみんみー、みーけいし、まちか
にてうたさ、わったーすーいみそうれ

夢ヲ見、夢ミ返シ、待カネテ居タヨ、
我夫オハイリヨ

(と言て、イソ、ゝと先に立て引込めば、
男共は其姿を指さして、手を振り頸を
縮めて笑ひながらに)

男、んみぐワしがたと、とじぬちゃと、
みあわしんれば、エイ、さんれ、

娘姿ト、妻ノヤツ等ト、比ベテ見
レバ、オイ三良

んみぐワしがたや、かみかふとき
か、たいがとじ、やちんむぬ^(注5)、い
るまツくる、しぶうーぢぬいるアキサ
メサメ

娘子ノ姿ハ、神力仏力、兩人ノ妻ハ、
焼芋ノ、色ハ真黒、渋団扇ノ色、イヤ
ハヤハ、

(と言って、兩人揃て頸^(注6)と手を横に
振る)

注

(注2) 沖郷会版「カミデヤ」。未来社版で「カミジヤ」に修正。

(注3) 沖郷会版・未来社版ともに「サレン」だが、「サンレ」の誤りであろう。

(注4) 沖郷会版「仏力」で、「カ」がカタカナ。ひらがな「か」は未来社版の誤植。

(注5) 沖郷会版「やちんむね」。未来社版で「やちんむぬ」に修正。

(注6) 沖郷会版「頰」。未来社版で「頸」に修正。

Ⅱ. 「書き起こし」テキスト（グロス付き、『普久原本』CDより）

⑩歌劇 平良ぬ頂節（一名：茶売い節）

1-1. 妻（歌）

シュイ ナーフアニ モーラワ、 ジュリユビ サキヌミ
sjui naahwa=ni moor-awa, zuri+jub saki+numi
首里 那覇=DAT 行く.HON-IRCN 女郎+呼び 酒+飲み
首里那覇においでなら、女郎買いや酒飲み、

チバティ シンソーンナ、 ワッター スー。
cibati si=NsooN-na, waQtaa suu.
頑張る する = なさる -PRH 1PL 主
進んでなさらないように、我が夫よ。

ケール^(注7) エーダヌ シワヤ ウリル ヤンドー。
keer-u ?eeda=nu siwa=ja ?uri=ru ja-N=doo.
帰る -ATTR 間 = GEN 心配 = TOP それ = FOC COP-IND = SFP
帰る間の心配はまさにそれだよ。

ミムチ デーイチドー カンヌードー。
mimuci dee?ici=doo, kaNnuu=doo.
身持ち 第一 = SFP 肝要 = SFP
身持ちが第一だよ、肝要だよ。

1-2. 夫 (歌)

シワン^(注8) スナ、 バーチャーヨー、 チューヤ んジ、
siwa=N su-na, baacii=joo, cuu=ja ?N-zi,
心配 = ADD する -PRH, 姐さん = SFP 今日 = TOP 行く -SEQ
心配などするな、我が妻よ、今日行って、

アチャヤ イィヌ ヒサ ケーティ チュークトウ。
?aca=ja jinu hisa, kee-ti cu-u-kutu.
明日 = TOP 同じ 足 帰る -SEQ 来る -NPST-CSL
明日はその同じ足で、帰ってくるので。

1-3. 妻 (歌)

チャーヌ コーイミセーラー、 テーラヌ チジ ヌブティ、
caa=N kooji=miseer-aa, teera=nu cizi nubu-ti,
茶 = ADD 買う = HON-IRCN 平良 = GEN 頂 登る -SEQ
茶などお買いになるのなら、平良の頂を上って、

ガジマルギー シチャヨー ユシ、
 gazimaru+gii sica=joo jusi,
 榕樹+木 下 =SFP INTJ
 榕樹の下によ、うん、

カジ タユティ イイチョール んミーグワー チャーカラ コーティ
 kazi taju-ti ji-coo-ru ?Nmii-gwaa caa=kara koo-ti
 陰 頼る -SEQ 座る -PROG-ATTR 娘 -DIM 茶 =ABL 買う -SEQ
 (榕樹の) 陰を頼りにして座っている娘の茶を買って

モーリヨー、 ヌディ ンダ。
 moor-i=joo, nu-di Nd-a.
 行く .HON-IMP=SFP 飲む -SEQ みる -VOL
 おいでなさいよ、飲んでみよう。

1-4. 夫 (歌)

んミーグワー チャーヤ、 カワティ シーサ アマサヌ、
 ?Nmii-gwaa caa=ja, kawati sii-sa ?ama-sa-nu,
 娘 -DIM 茶 =TOP 特別に 酸い -NMLZ 甘い -NMLZ-SEQ
 娘の茶は特別に酸っぱく甘くて

アサヌ ミークファヤー、 ウリ コーユサ。
 ?asa=nu mii+kuhwajaa, ?uri kooj-u-sa.
 朝 =GEN 目+固める物 それ 買う -NPST-SFS
 朝のおめざましになるよ、それを買うさ。

ハナシ スル ウチニ スイン^(注9) ハチチョーサ。
 hanasi s-u-ru ?uci=ni sui=N haci-coo-sa.
 話 する -NPST-ATTR 内 =DAT 首里 =ADD ちよいと -来る .PROG-SFS
 話をするうちに、首里にも来てしまっているよ。

エー、サンダー、ディチャ ヤドウグワーカイ。

?ee, saNdaa, dica jadu-gwaa=kai.

おい 三良 さあ 宿 -DIM=ALL

おい、三良、さあ宿屋へ。

1-5. 茶売 (歌)

ワンドゥ^(注10) テーラチジヌ チャーウヤーヌ チルードゥ^(注11)

waN=du teera+cizi=nu caa+?ujaa=nu ciruu=du

1SG=FOC 平良 + 頂 =GEN 茶 + 売の者 =GEN 鶴 (名前) =FOC

私は平良頂の茶売りのチルー (鶴) という者

ヤイビーシガ、

jaj-ibii-siga,

COP-POL-CEX

ですが、

トゥチ ウシク^(注12) ナトーレー、 イスジ マチカイ んジティ

tuci ?usi-ku na-toor-ee, ?isuzi maci=kai ?Nzi-ti

時 遅い -INF なる -PROG-RCN 急いで 町 =ALL 出る -SEQ

時刻が遅くなっているので、急いで町へ出て

イキワル ヤル、 ジューニジ ナトーサ。

?ik-iwa=ru ja-ru, zuuni-zi na-too-sa.

行く -RCN=FOC COP-ATTR 十二 -時 なる -PROG-SFS

行かないといけない、12時になっているよ。

1-6. 夫 (歌)

チューヤ シマスガイ^(注13)、 チャーン^(注14) コーティ イカナ。

cuu=ja sima+sugai, caa=N koo-ti ?ik-a=na.

今日 =TOP 島 + 装い 茶 =ADD 買う -SEQ 行く -VOL=SFP

今日は村に戻る支度で、茶など買っていこうよ。

エー、サンダー、テーラ んじヤー。

ʔee, saNdaa, teera ʔN-zi=jaa.

おい 三良 平良 行く -SEQ=SFP

おい、三良、平良に行つてなあ。

1-7. 茶売 (歌)

チャーヌ コーイミセーラー、 マーサチャーヌ アシル、

caa=N kooji=miseer-aa, maa-sa+caa=nu ʔa-si=ru,

茶 =ADD 買う =HON-IRCN 旨い -NMLZ+ 茶 =NOM 有る -COMP=FOC

茶などお買いになるなら、美味しい茶があるのだから、

ヤクミーター、コーラニ? (註15)

jakumii-taa, koor-an=i?

兄さん -PL 買う -NEG=Q

兄さんたち、買わないのかい?

1-8. 夫 (歌)

チュイニ イッチンジチヌ ハナヌコーカラ

cui=ni ʔiQciN-zici=nu hana=nu+koo=kara

一人 =DAT 一斤 - ずつ =GEN 花 =GEN+ 香 =ABL

一人に一斤ずつの「花の香」(サンピン茶のことか) から

カキティ ウミソーレー、 アヤーメーグワー。

kaki-ti ʔu=misoor-ee, ʔajaa-mee-gwaa.

掛ける -SEQ 売る =HON-IMP 奥様 -前 -DIM

(秤に) かけて売ってください、若奥様。

チャーヌ デーン トウイミソーレー。

caa=nu dee=N tuji=misoor-ee.

茶 =GEN 代金 =ADD 取る =HON-IMP

茶の代金も取ってくださいな。

1-9. 茶売 (歌)

ケーシムドウシヤ ナマヤ ネーランシガ。
keesi+mudusi=ja nama=ja neeraN-siga.
返し + 戻し =TOP 今 =TOP 無い -CEX
お釣りは今は無いけれど。

1-10. 夫 (歌)

シマビーサ。
sim-abii-sa.
済む -POL-SFS
かまいませんよ。

1-11. 茶売 (歌)

チューヤ フリムン イチャティ、
cuu=ja huri+muN ?ica-ti,
今日 =TOP 惚れ + 者 出会う -SEQ
今日は愚か者と出会って、

イー アチネー シチエサ^(注16)、 ヘク ヤーカイ イキワドウ ヤル。
jii ?acinee si-ce-sa, heku jaa=kai ?ik-iwa=du ja-ru.
良い 商い する -RSL-SFS 早く 家 =ALL 行く -RCN=FOC COP-ATTR
良い商売をしたよ、早く家に行かないといけない。

1-12. 夫 (歌)

シキン ウトウタカサ んミーグワー シガタヤ カミル ヤサ、 サンダー、サツティム。
sikiN ?utu+taka-sa ?Nmii-gwaa sigata=ja kami=ru ja-sa, saNdaa, saQtimu.
世間 音 + 高い -NMLZ 娘 -DIM 姿 =TOP 神 -FOC COP-SFS 三良さても
世間で評判の高い娘の姿はまさに神だよ、三良、さてもさても。

Ⅲ. 再編テキスト（グロス付き、『加藤本』より）

2-1. 女（歌）

スイ ナーファニ モーラワ、 イタジラ サキヌミ
sui naahwa=ni moor-awa, ?itazira saki+numi
首里 那覇=DAT 行く .HON-IRCN 徒ら 酒+飲み
首里那覇においでなら、むだに酒飲みは

チチシミンソーレー、ワッター スー。
cicisimi=Nsoor-ee, waQtaa suu.
慎む =HON-IMP 1PL 主
慎んでくださいね、我が夫よ。

めール 糸ーラヌ シワヤ ウリル ヤンドー。
?meer-u ?weera=nu siwa=ja ?uri=ru ja-N=doo.
行く .HON-ATTR 間=GEN 心配=TOP それ=FOC COP-IND=SFP
おいでになる間の心配はまさにそれだよ。

ミムチ テーシチ、カンヌードー。
mimuci teesici, kaNnuu=doo.
身持ち 大切 肝要=SFP
身持ちは大切、とても大事だよ。

2-2. 男（歌）

シワン スナ、 パーチャーター、チューヤ んジ、
siwa=N su-na, baacii-taa, cuu=ja ?N-zi,
心配=ADD する -PRH, 姐さん -PL 今日=TOP 行く -SEQ
心配などするな、妻たちよ、今日は行って、

アチャヤ イィヌ フィサ、 ケーティ チュークトウ。
 ?aca=ja jinu hwisa, kee-ti cu-u-kutu.
 明日 =TOP 同じ 足 帰る -SEQ 来る -NPST-CSL
 明日はその同じ足で、帰ってくるので。

2-3. 女 (歌)

チャーシ コーイミセーラー、 テーランチジ ヌブティ、
 caa=N kooji=miseer-aa, teera=N+cizi nubu-ti,
 茶 =ADD 買う =HON-IRCN 平良 =GEN+ 頂 登る -SEQ
 茶などお買いになるのなら、平良の頂を上って、

ガジマルギー^(注17) シチャヨー ユシ
 gazimaru+gii sica=joo jusi,
 榕樹 + 木 下 =SFP INTJ
 榕樹の下によ、うん

カジ タユティ イィチョール んミーグワー チャーカラ^(注18) コーティ
 kazi taju-ti ji-coo-ru ?Nmii-gwaa caa=kara koo-ti
 陰 頼る -SEQ 座る -PROG-ATTR 娘 -DIM 茶 =ABL 買う -SEQ
 (榕樹の) 陰を頼りにして座っている娘の茶を買って

めんソーレー、 ヌディ ンダ。
 ?meNsoor-ee, nu-di Nd-a.
 行く .HON-IMP 飲む -SEQ みる -VOL
 いらっしゃい、飲んでみよう。

2-4. 男 (歌)

んミーグワー チャーヤ、 カワティ シーサ アマサヌ、
 ?Nmii-gwaa caa=ja, kawati sii-sa ?ama-sa-nu,
 娘 -DIM 茶 =TOP 特別に 酸い -NMLZ 甘い -NMLZ-SEQ
 娘の茶は特別に酸っぱく甘くて

アサヌ ミークファヤー。

?asa=nu mii+kuhwajaa.

朝 =GEN 目 + 固める物

朝のおめざましになる。

(サンレー)

ハナシ スル ウチニ スイン ハイチチャサ。

hanasi s-u-ru ?uci=ni sui=N hai-ci-ca-sa.

話 する -NPST-ATTR 内 =DAT 首里 =ADD ちょっと -着く -PST-SFS

話をするうちに、首里にもひょっこり着いたよ。

カミジャーフィー、 ディチャ ヤドウグワーンカイ。

kamizaa-hwii, dica jadu-gwaa=Nkai.

亀ジャー - 兄 さあ 宿 -DIM=DAT

カミジャー兄貴、さあ、宿屋に。

2-5. 鶴 (歌)

ワンドゥ テーランチジ、 チャーン ウユル チルードゥ

waN=du teera=N+cizi, caa=N ?uj-u-ru ciruu=du

1SG=FOC 平良 =GEN+ 頂 茶 =ADD 売る -NPST-ATTR 鶴 (名前) =FOC

私は、平良の頂、茶などを売るチルー (鶴) という者

ヤイピーシガ、

jaj-ibii-siga,

COP-POL-CEX

であります、

トゥチ ウシク ナトーティ、 フェーク^(注19) マチカイ んジティ

tuci ?usi-ku na-too-ti, hweeku maci=kai ?Nzi-ti

時 遅い -INF なる -PROG-SEQ 早く 町 =ALL 出る -SEQ

時刻が遅くなっているが、早く町へ出て

イキワドウ (注20) ヤル、 ジューニジ ナトーサ。
 ?ik-iwa=du ja-ru, zuuni-zi na-too-sa.
 行く -RCN=FOC COP-ATTR 十二 -時 なる -PROG-SFS
 行かないといけない、12時になっているよ。

2-6. 男 (歌)

(サンレー)

チューヤ シマスガイ、 チャーン コーティ イカナ。
 cuu=ja sima+sugai, caa=N koo-ti ?ik-a=na.
 今日 =TOP 島+装い 茶 =ADD 買う -SEQ 行く -VOL=SFP
 今日には村に戻る支度で、茶など買っていこうよ。

カミジャーフィー、 テーラ んジヨー。
 kamizaa-hwii, teera ?N-zi=joo.
 亀ジャー - 兄 平良 行く -SEQ=SFP
 カミジャー兄貴、平良に行ってね。

(カミジャー)

シキン トウユマリール んミーグワー シガタヤ
 sikiN tujum-ari-i-ru ?Nmii-gwaa sigata=ja
 世間 鳴り響く -PASS-NPST-ATTR 娘 -DIM 姿 =TOP
 世間に名高い娘の姿は

カミカ フトゥキカ、 エーサ、 サンレー、 サツティム。
 kami=ka hutuki=ka, ?eesa, saNree, saQtimu.
 神 =Q 仏 =Q おい 三良 さても
 神か仏か、おい、サンレー、さてもさても。

2-7. 鶴 (歌)

チャーシ コーインセーラー、 ウマサチャーヌ アクトゥ、
 caa=N kooji=Nseer-aa, ?uma-sa+caa=nu ?a-kutu,
 茶 =ADD 買う =HON-IRCN 旨い -NMLZ+ 茶 =NOM 有る -CSL
 茶などお買いになるなら、美味しい茶があるから、

ヤクミーター、 コーラニ？
jakumii-taa, koor-an-i?
兄さん -PL 買う -NEG=Q
兄さんたち、 買わないのかい？

2-8. 男 (歌)

チュイニ チン+——ジチ ハナヌコーカラ
cui=ni ciN+****-zici hana=nu+koo=kara
一人 =DAT 斤+****-ずつ 花 =GEN+ 香 =ABL
一人に、 斤——ずつ、「花の香」(サンピン茶のことか) から

カキティ ウミショーレー、 デーネー イランサ。(註21)
kaki-ti ?u=misjoor-ee, deenee ?ir-aN-sa.
掛ける -SEQ 売る =HON-IMP 代値 .TOP 言う -NEG-SFS
(秤に) かけて売ってください、代金は言わないよ (かまわないよ)。

(註22) チャーンデー、 トウイミソーレー。
caa=N+dee tuji=misoor-ee.
茶 =GEN+ 代金 取る =HON-IMP
茶の代金を取ってくださいな。

2-9. 鶴 (歌)

ケーシムドウシヤ、 ナマヤ ネーランシガ。
keesi+mudusi=ja nama=ja neeraN-siga.
返し + 戻し =TOP 今 =TOP 無い -CEX
お釣りは、今は無いけれど。

2-10. 男 (歌)

シマビーサ。
sim-abii-sa.
済む -POL-SFS
かまいませんよ。

2-11. 鶴 (歌)

チューヤ フリムン イチャティ^(注23)、
cuu=ja huri+muN ?ica-ti,
今日 =TOP 惚れ+者 出会う -SEQ
今日は愚か者と出会って、

イー アチネー シチャサ、 フェク^(注24) ヤーンカイ イキワドゥ^(注25) ヤル。
jii ?acinee si-ca-sa, hweku jaa=Nkai ?ik-iwa=du ja-ru.
良い 商い する -PST-SFS 早く 家 =DAT 行く -RCN=FOC COP-ATTR
良い商売をしたよ、早く家に行かないといけない。

2-12. 男 (歌)

スイカラヤ ナマドゥ チョーシガ、
sui=kara=ja nama=du c-oo-siga,
首里 =ABL=TOP 今 =FOC 来る -PROG-CEX
首里からは今こそ戻ってきたが、

ヤーヤ ターン フウランカヤー、 パーチャーヨー。
jaa=ja taa=N wur-aN=kajaa, baacii=joo.
家 =TOP 誰 =ADD 居る =NEG=SLFQ 姐さん =SFP
家には誰もいないのかな、妻よ。

2-13. 女 (歌)

イミン ミー、 ミーケーシ、 マチカニティ フウタサ。
?imi=N mii, mii+kees-i, mac-i-=kani-ti wu-ta-sa.
夢 =ADD 見る .INF 見+返す -INF 待つ -INF=兼ねる -SEQ 居る -PST-SFS
夢も見、見返し、待ちかねていたよ。

ワッター スー、 イミソーレー。
waQtaa suu, ?i=misoor-ee.
1SG 主 入る =HON-IMP
我が夫よ、お入りなさいよ。

2-14. 男 (歌)

んミーグワー シガタトゥ トウジヌチャートゥ、
?Nmii-gwaa sigata=tu tuzi=nu-caa=tu,
娘 =DIM 姿 =COM 妻 =GEN-PL=COM
娘の姿と妻たちと

ミアワシ ンリバ、 エー、 サンレー、
mi+?awas-i Nr-iba, ?ee, saNree,
見 + 合わす -INF 見る -RCN おい 三良
見比べてみれば、おい、サンレー、

んミーグワー シガタヤ カミカ フトゥキカ、
?Nmii-gwaa sigata=ja kami=ka hutuki=ka,
娘 -DIM 姿 =TOP 神 =Q 仏 =Q
娘の姿は、神か仏か、

タイガ トウジ、 ヤチんムヌ イルマックルー、
tai=ga tuzi, jaci+?Nmu=nu ?iru+maQkuruu,
二人 =GEN 妻 焼き + 芋 =GEN 色 + 真っ黒の者
(それに比べて) 二人の妻は、焼芋の色真っ黒の者で、

シブオージヌ^(注26) イル、 アキサメサメ。
sibu+?oozi=nu ?iru, ?akisame-same.
渋 + 扇 =GEN 色 なんとまあ - まあ
渋うちわの色だよ、なんとまあまあ。

注

- (注7) 沖縄口語では「ケーユル」または「ケーイル」となる。「ケール」は沖縄文語の動詞・基本形の連体形。
- (注8) 元の歌詞テキストは「心配すな」であるが、音源を確認したところ、「シワン スナ」と聞いたので、「ン」を補った。
- (注9) 元の歌詞テキストは「首里」に「しゅい」とルビを振るが、音源で直音化した「スイ」と聞いたので、「スイ」を採った。
- (注10) 元の歌詞テキストは「我身」に「わみ」とルビを振るが、音源で「ワン」と聞いたので、「ワン」を採った。
- (注11) 元の歌詞テキストはこの係助詞を「る」とするが、音源により「ドウ」を採った。ただし、「ル」と「ドウ」の区別を厳密に行うことにそれほど意味はない。
- (注12) 「おそく(遅く)」は、音対応の関係で言えば「*ウスク」となるはずであるが、『沖縄語辞典』には「ʔuSisaN ① * (ウスイサン)」(p.566)とある。これは「*おすさ-あり-む」に対応する形となっており、連用形が「*ウスク」ではなく、「ウシク」(遅く)となることが予想される。『英琉辞書』(ベツテルハイム)にも Late の項目に、üssiku とあり(2017, p.193)、「ウシク」(遅く)の発音を支持する。
- (注13) 『沖縄語辞典』(1963, p.475)には simasugai ⑩が立項されており、「(名) 故郷に帰る支度。」とある。
- (注14) (注8)に同じく、「茶」に「チャーン」と「ン」を補った。
- (注15) 音源では、「コーラニ」の最初の部分の母音が広く、「カラニ」のように聞こえるが、歌詞テキストおよび意味に合わせて「コーラニ」とした。
- (注16) 音源では、「シチェサ」(結果形)の「チェ」の部分の母音が広く、「シチャサ」(過去形)のようにも聞こえるが、歌詞テキストに合わせて「シチェサ」とした。
- (注17) 未来社版等、原本では「かじまるち」とあるが、「木」は「キー」で、「*チー」にはならないので、「ガジマルギー」とした。
- (注18) 未来社版等、原本では「んみちがヤから」とあるが、「んみがチャから」などとなるべきところであろう。「んミーガ チャーカラ」の可能性もあるが、他のところで「ンミーグワー チャー」であるので、「んミーグワー チャーカラ」の解釈でよいと思われる。
- (注19) 未来社版等、原本では「ふィく」とあるが、「ふェく」などとなるべきところであろう。
- (注20) 未来社版等、原本では「いちわど」とあるが、これは「行けばど」(已然形+ば+ど)に対応する形であるので、「イキバドゥ」とした。現在の沖縄語でもこの形(イキバドゥ)である。
- (注21) 『沖縄語辞典』の見出し語として立項されている deeni ⑩に、次のような記述がある。「deeni ⑩ (名) 代価。値段。[—中略—] hananukookara kakiti ʔumisjooree, deenee ʔiraNsa. [花の香から かけて売みようれ だいねや言らんさ (茶売節)] 花の香(茶の名)をはかりにかけて売って下さい。値段はかまいません。ʔiraN (言わぬ) は那覇語。」(『沖縄語辞典』1963, p.176)
- (注22) 未来社版等では、この部分で「男、～」と始まるので、歌い手が交代しているのかもしれない。

(注23) 未来社版等では、「いーちョて」とあるが、意味的に「イチャティ」（出会う）であると思われるので、「ちョ」は「チャ」の誤記ではなからうか。

(注24) (注19) に同じ。

(注25) (注20) に同じ。

(注26) 未来社版等では、「しぶうち」とあるが、「扇」は「あふぎ」に由来し、現在の沖縄語では「オージ」と言う。『英琉辞書』（ベッテルハイム）にも Fan の項目に、ódji とあり、ó の母音を記す（2017、p.114）。「シブオージ」は『英琉辞書』、『沖縄語辞典』にも有って、次のように記述されている。『沖縄語辞典』には、例文として「茶売やー」のフレーズが引用されている。

「書き込みのある黒紙製 shibu ódji;」（『日本語訳 英琉辞書』2017、p.114）

「sibu?oozi ①（名）渋うちわ。?Nmigwašigataja kamika hutukika, taiga tuzee `jaci?Nmunu ?iru ~ nu ?iru.（茶売節）茶売りのねえさんは神か仏のように美しいのに、自分らふたりの妻は焼きいもの色、渋うちわの色。」（『沖縄語辞典』1963、p.464）

○参考文献

加藤三吾 1971 『琉球の研究』 沖縄郷土文化研究会（三版） 二版：1939

加藤三吾 1985 『琉球の研究』 未来社（第二刷） 第一刷：1975

国立国語研究所 [編] 1963 『沖縄語辞典』 大蔵省印刷局

西岡敏 2019 「<言語資料>琉球歌劇「仲直り三良小」の文法注釈付きテキスト」
『沖縄国際大学日本語日本文学研究』24(1)、pp.1-40

西岡敏 2021 「<言語資料>琉球歌劇「親阿母」の文法注釈付きテキスト」『沖縄国際大学日本語日本文学研究』26(1)、pp.1-50

普久原恒勇 [監修] 2007 『昭和戦前・戦後 黄金期の名人が甦る 沖縄民謡大全集』（CD解説書）音源提供：マルフクレコード 曲解説：マルフクレコード制作部 日本音声保存

ベッテルハイム B.J. [著]、伊波和正・高橋俊三・兼本敏 [編訳] 2017 『日本語訳 英琉辞書』武蔵野書院